

事務事業評価（平成27年度に実施した事務事業）

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H27 事業概要	H27 事業実績	H27決算 見込額	活動指標名 （業務量的指標）	単位	H27 目標	H27 実績	H28 目標	事業の進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
	34	企画部	市民協働課	02	01	08	★	バス事業	市民の日常生活における交通手段の確保を図り、快適な住まい環境の確保を図る。特に、高齢者、通学児童、生徒、通勤者の日常生活の移動手段を確保する。	市民の通勤通学や通院、買い物の為の利用の利便を図るため、コミュニティバスを運行する。	55,872	・各地区からJR駅へ運行する6路線を車両5台で運行するコミュニティバス事業の実施 ・鷺津地区内を循環する路線を10月から運行開始した。	人	90000	79946	90000	B	A	B	B	A	B	需要の少ない地域や交通空白地域となっている地域の対応を検討する必要があるため。	継続
	36	企画部	市民協働課	02	01	08	★	地域公共交通対策事業	市内の公共交通を総合的に見直し、より利便性の高い、市民に利用される地域公共交通サービスの充実を図る。	地域公共交通会議では、市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保を図り、利用者がより便利に利用できる施策や地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。また評価改善委員会において、計画に基づいた進捗管理を行い、運行の見直しや利用促進策の見直しにつなげる。	14,403	地域公共交通会議の開催（4回） バス運行評価改善委員会の開催（3回） 路線退出に伴う自主運行バスの運行	%	86	86	86	A	A	A	A	A	A	市・運行事業者による運営事務局を中心に取組体制を構築し、コーちゃんバスの改善につなげている。	継続
	37	企画部	市民協働課	02	01	08	★	天竜浜名湖鉄道対策事業	天竜浜名湖鉄道の経営の安定を図り、地域住民の交通手段の確保と地域活性化を図る。	天竜浜名湖鉄道の利用促進と地域のマイルール意識を高め、財政的支援を計画的に行うことで、経営を長期安定化する。	18,093	市内乗降客数	人		322096		A	B	B	B	B	B	沿線住民のための大切な交通手段として、維持すべき公共交通であるため。	継続
	40	企画部	市民協働課	02	01	08		鷺津駅北公共駐車場施設管理	JR駅利用者や商店街への買い物等の為に、公共駐車場を運営する。	鷺津駅北駐車場の運営を行う。							B	B	B	C	C	B	民間への貸付により、赤字から黒字に転換するため。	改善（その他）
	60	新居支所	新居支所	02	01	19		駅西自転車等駐車場管理運営費	①JR新居町駅利用者の自転車等の利便に供するため、自転車等駐車場を確保する。 ②自転車等整理区域の放置自転車ゼロを目指し、都市環境の悪化を防ぎ、通行機能や歩行者の安全保持を図る。	①次の業務を行う。 ア. 自転車、原付バイクの預かり業務 イ. 放置自転車の保管業務 ウ. レンタサイクルの貸出業務 エ. 駐輪場及び周辺緑地の維持管理 ②指導整理区域における自転車等の駐車方法を指導し、放置されている自転車等を整理する。	6,372	①自転車 一時預かり延べ:15,617台 定期券発行数: 自転車一般969枚、学生1,454枚 原付 一時預かり:1,037台 定期券発行:97枚 ②週3回見回り 警告札:9台	人	18,000	16,654	—	B	B	B	C	B	B	利用者の減少、施設の老朽化が進行しているが、放置自転車対策としては必要な業務である。	廃止
415	都市整備部	都市計画課	08	04	01	★	新所原駅周辺まちづくり事業	新所原駅周辺の整備を推進することにより、交通利便性の良いまち、安心安全なまちづくりを行う。	JR委託による自由通路新設及び橋上駅舎化事業、北口駅前広場暫定整備工事及び土地購入と物件移転補償を行い事業の推進を図る。	自由通路新設及び橋上駅舎化委託業務 一式 自由通路新設等に伴う大浜線に係る委託業務 一式 北口駅前広場暫定整備工事 A＝624㎡ 駅前広場等用地契約 A＝757㎡	689,929	駅周辺施設整備の全体計画に対する整備率（累計）	%	40	40	74	A	A	A	A	A	A	JRとの工事協定により、H28年度までに自由通路及び橋上駅舎の整備を完了する必要がある。	継続